

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 9月 9日(金)

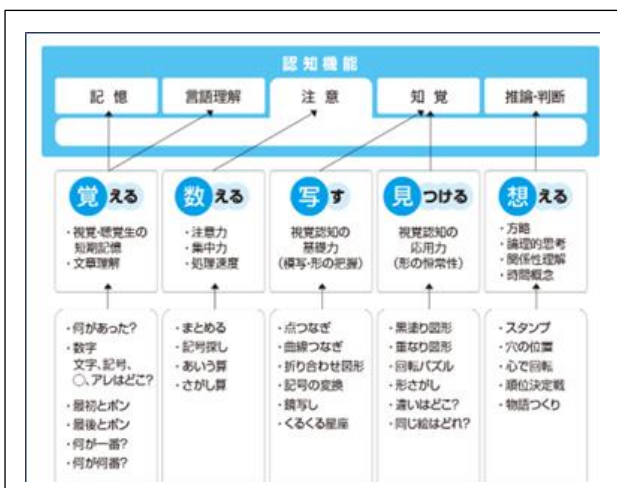
その1 通算 254号

◇ シリーズ【コグトレ：認知訓練】⑤<オンライン編>

前回シリーズ④から随分と間が空いてしまったので、まずは簡単な復習から。

【コグトレ】とは、「Cognitine-Training」。つまり【認知訓練】と語訳。認知訓練を大きく分けると、

- ①【認知作業トレーニング：不器用さの改善】
- ②【認知ソーシャルトレーニング：対人スキルの口上】
- ③【認知機能強化トレーニング：基礎学力の土台作り】の三訓練になる。訓練効果の高さは立証されており、コグトレは各方面から注目されている。



さて、ここで注目したいのが、【認知機能強化トレーニング】である。

【基礎学力の土台作り】に有効であり、子供の学びの土台となる【記憶】・【計算】・【気付き＝発見】・【模写＝簡単な作業】・【想像力】を鍛えることができる。つまり、知識の土台作りの訓練である。

しかも、各種トレーニングとも多彩で、トレーニングの選択とともにトレーニングレベルも選択できるなど、児童個々に合わせた段階的な積み上げや土台力の向上を目指すことができる。

そして何よりも、【楽しみながら訓練できる】ことが最大のポイントである。

先行導入事例や資料を基に検討を重ねた結果、本校も「テスト導入」をすることとなった。「テスト導入」とは、本年度は5・6年生の上学年で導入し、その成果を分析・判断し、継続実施を含めて来年度以降に繋げていくというもの。

しかも5・6年生のみテスト導入しやすい日課環境にある。本校の日課は、朝の会から1限の授業の間が25分と幅広い。これは、以前実施していた【はげみ学習】の流れであり、ここで4年生以下は「英語DVD」を視聴し、上学年は「ドリル学習」を行う。テスト導入にあたり、この時間を利用するというものだ。

ドリルから「コグトレ・タイム」への移行。これで日課の変更等の必要もない。

さて、つづいて「コグトレ・タイム」の内容について。

当初考えていたのは、購入した書籍の「ページの増し刷り」である。この方法は、利益を生む他への転用ではなく子供の学びへの利用であるため、著作権には触れない。※児童のテストや学習プリント等に教師が使用する歴史的資料や写真活用と同等の扱い。

けれども懸念もあった。教師の負担増である。個の興味やレベルに合わせてとなると、何種類もの練習用紙を準備することとなり、これまで行ってきたドリルと比べると、教師に係る作業量・事務量・消費時間が激増するのは明らかだ。

「何とかならないものか…」と方法を探っていたところ、いい方法が見つかった。

【コグトレ電子版（コグトレ・オンライン版）】の利用である。



時を同じくして、岡崎市もコグトレに動き出す。今学期より始まった市内小中学校の特別支援学級に在籍する全児童・生徒へのコグトレ・オンライン版の供与である。

導入検討時に「お試し版」を試み、有用性は把握していたが、本製品の使用により、その全貌が見えた。「とてもいい」の一言である。

東京書籍発行の上記製品は「ライセンス」人当たり1,200円/年間（税別）である。⇒⇒

これは市販されている書籍と同程度の価格であり、何度も使用できることを考えるとお得感がある。児童の年鑑登校日数が200日程であることを鑑みれば、1日当たり：6円だ。

個別 ライセンス

1,320円(本体1,200円) × 児童・生徒数

- ・ご利用になる児童・生徒数分のみライセンスを発行します。
- ・年度末までご利用いただけます。5月以降にご利用を開始される場合は、年度末までの月割価格にて承ります。

学校一括 ライセンス

594円(本体540円) × 児童・生徒数

・所属する学校の全児童・生徒数分の購入が必要です。

ところが、学校購入特典というスペシャル価格がある。個別ではなく、学校から購入する場合のみ有効な【学校一括ライセンス】が存在するのだ。

けれども、本校のテスト導入は上学年のみ。うーん…だが、これで終わらない。

学年一括 ライセンス

594円(本体540円) × 児童・生徒数

・ご利用になる学年の全児童・生徒数分の購入が必要です。

☞上記と全く同額の【学年一括ライセンス】があるのではないか。まさに本校にぴったり!!!

何と1日当たり：3円だ。<コグトレ⑥に続く>